

「うつのみや学校マネジメントシステム」学校評価書（中学校版）

※ 網掛けのない部分が計画，網掛けの部分が評価結果を受けて記入する。

1 教育目標（目指す児童生徒像含む）

(1) 基本目標 ・ 心身ともに健康で気力あふれる生徒 ・ 自主的に学び創造性に富む生徒 ・ 思いやりがあり心豊かな生徒 ・ 勤労と責任を重んじる実践力のある生徒	(2) 具体目標（具体的な児童生徒像など） ・ 心身を鍛える生徒 ・ 自主的に学ぶ生徒 ・ 思いやりのある生徒 ・ 最後までやりぬく生徒
---	--

2 学校経営の理念（目指す学校像含む）

<input type="radio"/> 一人一人の生徒が希望をもって生き生きと活動している学校 <input type="radio"/> 保護者・地域から納得していただける教育を提供する学校
---

3 学校経営の方針（中期的視点）

(1) 学習指導において、授業を教師間で見せ合う機会を多くして研究的に授業を行い、生徒の能動的・主体的学びを引き出す工夫をする。 (2) 生徒指導において、生徒の活動の場・任せる場を設定し、誉めて育てるとともに、人間教師として生徒に正対し、許せないことは、毅然として指導する。 (3) 学級活動、生徒会活動、学校行事等の特別活動において、生徒の主体的・自治的活動を積極的に取り入れ、温かい人間関係づくりを心がけながら、人間関係力や課題解決力を養う。 (4) すべての教育活動を、特別支援教育の考え方を生かして行い、一人一人の生徒の内面や能力・環境等の背景を理解し、その教育的ニーズに応える教育を推進する。 (5) 小中連携を積極的に進め、小中一貫教育の実施に向けて準備・研究を行う。 (6) 豊かな心と主体性を育む教育環境（施設設備等のハード面や、言語・教師の生き方等のソフト面）の整備・美化・充実に努める。
---

4 今年度の重点目標（短期的視点）

(学校運営) ① 明るく楽しく活力ある学校(学級)      ② 潤いのある学校      ③ 地域と共に歩んでいる開かれた学校 (児童生徒指導) ・ 豊かな人間性や社会性をもった生徒の育成 ―家庭・地域や小学校との連携を図って― (健康・体力) ・ 「自らの健康・体力の向上に励む生徒」の育成 (学習指導) ・ 「基本的学習態度を身につけ、主体的に学ぶ生徒を育成する」 ～基礎・基本の定着を目指して～
--

5 自己評価（Aは共通評価指標，Bは学校独自評価指標）

（評価指標の【全】は，全体アンケート実施）

（「主な具体的な取組の方向性」には，A拡充 B継続 C縮小・廃止，を自己評価時に記入）

項目	評価指標	主な具体的な取組	方向性	評価
教育全体の状況	A1 学校は，活気があり，明るくいきいきとした雰囲気である。【全】 【数値指標】 全体アンケートの「自分は今の学校が好きである」 ⇒生徒の肯定的回答80%以上	① 学校行事では、生徒の自発的・自治的活動を積極的に取り入れ指導に当たる。 ② 時間を守る、身の回りの整理整頓や状況に応じた礼儀・態度など基本的生活習慣を身に付けさせる。 ③ 互いに認め合い励ましあう活動形態の工夫・実践をする。	B	【達成状況】 →生徒の肯定的回答は89%、保護者も同様に、教職員は92%であった。いずれも昨年度より肯定的回答が伸びている。 【次年度の方針】 ・学校全体として、生徒のやる気をさらに伸ばすような取り組みを工夫する。

学校運営の状況	<p>A2 教職員は、組織の一員として誠実かつ熱心に教育に当たっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方は大切なことをしっかり教え熱心に指導してくれる」 ⇒生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>① どの生徒にも居場所があり自己実現の場がある学校を目指して創意工夫し、協力と和の精神をもって取り組む。</p>	<p>【達成状況】 →生徒の肯定的回答は88%であるが、保護者は75%にとどまっている。</p> <p>【次年度の方針】 ・分かる授業の工夫とどの生徒にも自己実現の場のある学校を目指す。</p>
	<p>A3 生徒は、授業と生活のきまりやマナーを守り、秩序があり安全な学校生活をしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒は授業と生活のきまりやマナーを守って生活している」 ⇒生徒の肯定的回答75%以上</p>	<p>① ノーチャイムの実施等をおおして、きまりを理解し、それを守ろうとする規範意識や、公共のために役立つことを進んで行う態度を身に付けさせる。</p>	<p>【達成状況】 →生徒の肯定的回答は73.5%にとどまっている。昨年度よりはわずかな伸びがみられた。</p> <p>【次年度の方針】 ・ノーチャイムの実施、授業や生活のきまりやマナーを守ることにについて、生徒が自主的に取り組めるような手立ての工夫と指導が必要である。</p>
	<p>A4 分かる授業やきめ細かな指導で学力向上を図っている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「先生方の授業は分かりやすく一人一人に丁寧に教えてくれる」 ⇒生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 授業において、互いに認め合い励まし合う学習の場を作るよう努力をし、さらに真に学び合う活動を展開し、学力の向上を図る。</p> <p>② 一人ひとりの良さを見つけ伸ばすための支援方法を共有化することにより、より良い人間関係作りを推進する。</p>	<p>【達成状況】 →生徒の肯定的回答は72.4%にとどまり、教職員は89%なのに対して保護者は53.9%である。</p> <p>【次年度の方針】 ・教師の授業力向上とともに少人数指導や習熟度別指導をさらに充実させる。</p>
	<p>A5 日課、授業、学校行事など教育課程は、適切に実施されている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は学校での生活や様々な活動が充実している」 ⇒生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 生徒が活躍する場や、生徒に任せる場を設定し、誉めて育てるとともに、生徒に正対し許せないことは毅然として指導する。</p> <p>② 温かい人間関係づくりを心がけながら人間関係力や課題解決力を養う。</p>	<p>【達成状況】 →生徒の肯定的回答率は87.3%であり、保護者は88.6%であるが、教職員は78.3%であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・新たに実施するものと、スクラップするものを選別して教育課程を編成する。</p>
	<p>A6 学校の公開や情報の積極的な発信・提供が行われ、「地域の学校づくり」が進められている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は学校便りや学校公開などで積極的に情報を発信・提供している」 ⇒保護者の肯定的回答75%以上</p>	<p>① 学校公開日を2日設け他に保護者との二者面談や学級懇談の機会を持つようにし、情報交換に努める。</p> <p>② 学年だよりや学級だよりの発行や学校のホームページを通じて、情報の発信・提供に努める。また、校長は、保護者や地域の集まりなどでの発言の機会を有効に活用し、生徒の実態や指導の具体策、協力依頼などを伝えていく。</p>	<p>【達成状況】 →保護者の肯定的回答率は84%であり、教職員は81%であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・HPをさらに利用しタイムリーな情報も発信するよう努める。</p>

	<p>A7 学校と家庭・地域・企業等との連携・協力を図った取組が推進されている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「自分は地域や保護者の方々に言葉をかけられたりあいさつをされたりする」 ⇒生徒の肯定的回答70%以上</p>	<p>① 「魅力ある学校づくり地域協議会」を有効活用し、学校をより開かれた場にするとともに、地域の教育力を十分に活用していく。</p> <p>② 地域ぐるみであいさつ運動を推進するとともに、学校支援地域本部事業を通じ、情報を整理したり地域に発信するようにして、活動の充実を図る。</p>	<p>【達成状況】 →生徒の肯定的回答率は76.4%であり、保護者は79.5%、教職員は83.7%であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・地域協議会や支援地域本部事業の活動をさらに活発にし、地域をあげて学校を支援する体制をつくる。</p>
	<p>A8 校内は、学習にふさわしい環境となっている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は清掃が行き届き学習しやすく潤いのある環境である」 ⇒保護者の肯定的回答75%以上</p>	<p>① 緑化・諸掲示・美術・音楽・言語・生活習慣等の教育環境を、教科学習とその他の諸活動を通して整備・充実していく。</p>	<p>【達成状況】 →保護者の肯定的回答が77.6%であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・教職員の肯定的回答は62.1%であった。一層環境美化につとめる必要がある。</p>
	<p>A9 学校全体で、教職員一人一人の指導力向上に努めている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「学校は教職員が互いに指導力向上に取り組む、指導の工夫・改善に努めている」 ⇒教職員の肯定的回答75%以上</p>	<p>① 授業を教師間で見せ合う機会を多くして研究的に授業を行い、生徒の能動的・主体的な学びを引き出す工夫をする。</p> <p>② 全職員が参加する研究授業に教科の授業を取り入れ、より広い視野から授業改善を行ったり、職員の同僚性を高めていく。</p>	<p>【達成状況】 →教職員の肯定的回答が78.3%であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・今年度実施した「授業見せ合い週間」をさらに発展・充実させる。</p>
	<p>B1 潤いのある学校を目指して教育環境の整備に努めている。</p>	<p>① 施設設備等のハード面や言語・教師の生き方等のソフト面双方の、整備・美化・充実に努める。</p>	<p>【達成状況】 →生徒の肯定的回答率は77%であり、保護者は78.2%であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・教師の言葉づかいの改善も必要である。</p>
<p>教育活動の状況</p>	<p>A10 自ら進んであいさつし、気持ちの良い言葉づかいをしている。〔全〕</p> <p>【数値指標】 全体アンケートの「生徒はきちんとした言葉づかいや返事をしている」 ⇒生徒の肯定的回答75%以上</p>	<p>① 校内でのあいさつをさらに充実した自然なものにするともに、地域の方と参加する諸行事の機会をとらえるなどして、地域の方へのあいさつも活発なものになるよう努めていく。</p>	<p>【達成状況】 →生徒の肯定的回答率は73.9%であり、保護者は65.6%であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・あいさつ運動については辛抱強く継続的に取り組んでいく。学校園全体で取り組む方針を具体化させる。</p>

健康・体力	<p>A11 毎日朝ごはんを食べ、栄養のバランスを考えた食生活をしている。 〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「自分の子どもは朝ごはんを食べ好き嫌いなく食事をしている」 ⇒保護者の肯定的回答 80%以上</p>	<p>① 給食だよりを毎月発行するとともに給食時の放送なども機会をとらえて実施し、食の重要性を生徒に理解させるとともに、給食残量調査結果等を参考にし望ましい食生活を形成していく態度を育てる。</p>	<p>【達成状況】 →保護者の肯定的回答は84.8%と高かったが、教職員は70.2%、生徒は73.9%であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・「弁当の日」を今後とも無理のないよう配慮しながら、継続と充実をめざして実施していく。</p>
	<p>B2 自らの健康や体力の向上に励む生活をしている。</p>	<p>① 健康診断・新体力テスト等の結果を参考にして、体位・体力の調和と均整をとるよう各運動領域での補強運動の工夫をする。</p>	<p>【次年度の方針】 →生徒の肯定的回答が71.7%であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・生徒自ら課題を持ち、体力づくりに取り組めるようにする。</p>
学	<p>A12 授業に意欲的に参加し、基本的な学習態度・技能が身に付いている。〔全〕 【数値指標】 全体アンケートの「生徒は先生や友達の話をよく聞くなど落ち着いて学習している」 ⇒生徒の肯定的回答80%以上</p>	<p>① 年計から重点単元（題材）を洗い出して指導を工夫したり、研究授業を6・9・11月の3回実施したり、全校朝会で全生徒に話したりして、生徒が主体的に学ぼうとする雰囲気高めるための学習環境づくりに努める。</p>	<p>【達成状況】 →生徒の肯定的回答が74.2%、保護者が71%にとどまった。</p> <p>【次年度の方針】 ・分かる授業を展開するとともに、研修により教師の授業力の向上をめざす。</p>
本校の特色・課題等	<p>地域と共に歩む開かれた学校づくりを進めており、豊かな人間性や社会性をもった生徒の育成に努めている。</p> <p>「小中一貫教育モデル地域学校園」認証を受け、平成22、23年度実施に向けて、実行可能な教育活動の計画案を作成する。</p> <p>生徒や保護者にも施策について周知し、地域の子どもとして9年間を見通して成長するような意識と心豊かにたくましく生きる力を養う。</p>	<p>① 生徒会が中心となって生徒、保護者、地域に呼びかけ、自主的ボランティア活動として豊郷清掃祭を実施し、自他を尊重し、地域の文化財や自然を理解し守ろうとする態度を育てる。また遺跡愛護会や市関係者とともに活動することを通して、生徒の意識を地域や社会に向けさせ広い心を育てる。</p> <p>① 小中一貫教育について職員が理解を深め、生徒が小中の交流や連携による学習活動の大切さを意識するように具体的活動計画を立案する。</p> <p>② 学校園取組み計画などを保護者向けちらしや魅力ある学校づくり地域協議会での報告を通して周知していく。</p>	<p>【達成状況】 →保護者の肯定的回答率は78.2%であり、教職員は89.1%であった。</p> <p>【次年度の方針】 ・豊郷清掃活動など、具体的な活動を通して生徒の意識を地域や社会に向けさせる。</p> <p>【達成状況】 →教職員の肯定的回答が61.1%にとどまった。</p> <p>【次年度の方針】 ・小中一貫教育の実践を通してより社会性を伸ばすよう取り組む。</p>

〔総合的な評価〕

- ・昨年度との比較ではほとんどの項目で肯定的回答のポイントが上っている。
- ・生徒への指導として課題となるのは「ルールやマナーを守り秩序ある安全な学校生活」「ことば使いや返事」「基本的な学習態度・技能」などである。
- ・教師側の課題としては、分かる授業やきめ細かな指導が不十分なことと、小中一貫教育への取り組みに不安がある、などであった。

6 学校関係者評価

- ・「生徒は、進んで挙手し、大きな声で発表するなど授業に対して積極的に取り組んでいる」の項目が弱く、改善の必要がある。
- ・家庭や地域と連携して、あいさつや言葉使いの指導をより継続・充実させる必要がある。
- ・保護者・地域関係者の学校教育や生徒の実態把握はまだ十分とはいえないので、今後とも参観の機会などを活用して理解に努めたい。

7 まとめと次年度へ向けて（学校関係者評価を受けて）

- ・小中一環地域学校園の取り組みの一つ《学校生活支援》に重点的に取り組む。地域を上げてあいさつ・ルールやマナーの遵守などの社会性をより伸ばすことと、いじめや不登校その他の問題行動等の解消に向けた取り組みを行う。
- ・教師同士の研修会を充実させて授業力向上を図り、より活発な授業を展開するとともに、指導方法を工夫し、生徒一人一人にきめ細かに対応した授業の実践に取り組む。